

光星13安打 4強進出

第72回春季
東北高校野球

第2日

第72回春季東北地区高校野球大会は第2日の11日、山形の米沢市営野球場とヤマリョースタジアム山形(中山町)で準々決勝4試合を行い、4強が出そろった。本県第2代表の八戸学院光星は13安打を放ち、学芸石川(福島第2代表)に8-1の七回コールド勝ち。第1代表の青森山田は、

仙台育英(宮城第1代表)に終盤突き放され、4-8で敗れた。12日は休養日で試合はない。第3日の13日はヤマリョースタジアム山形で準決勝2試合を行い、八学光星は能代松陽(秋田第1代表)と対戦する。
(佐藤正悟、棟方好華)

投打で圧倒 7回コールド



【八学光星 学芸石川】6回裏、八学光星2死二塁、押田心の中前適時打で二塁走者・平良が生還し4-1とする。米沢市営野球場



【評】八学光星が13安打勝ち越した。

打の猛攻で快勝した。二回、押田心の適時二塁打で先制すると、1-1で迎えた五回二死二三塁、山上が左翼に2点適時二塁打を放ち勝ち越した。六回には押田心、久保の適時打と敵失で3点を追加。七回にも再び久保が適時打を放つなどしてさらに2点を加え、コールド勝ちを決めた。

県勢あすの試合

(左のチームが一塁側)

- ◇準決勝
- ▷ヤマリョースタジアム
- 山形
- 八学光星一能代松陽(12・30)

主将山上 意地の2点打

「打の光星」が戻って来た。5月の県大会打率が県勢3校で最低の2割7分1厘と、喝りを潜めていた打線がこの日は爆発。先発9人のうち8人が安打を放ち、13安打8得点でコールド勝ちした。仲井監督は「選手たちが力を発揮してくれて、夏に向けて非常にいい試合ができた」と目を細めた。

一本が出て本塁にうれしかったと満面の笑みを浮かべた。県大会16打数2安打、今大会1回戦も3打数無安打と振るわなかった主将久保も、この日は5打数4安打2打点と活躍。県大会から2人の奮起を課題としていた仲井監督は「マークも厳しくなり、思うように打てていなかったが、今日の結果を力や自信に変えていってほしい」と期待した。前回出場した2年前は決勝で仙台育英を3-2で破り、東北の頂点に立った。山上は「優勝はまだ考えず、目の前の一戦を全員で戦っていって勝ってかぶとの緒を締めたい」。

(棟方好華)

5回裏、勝ち越しの2点適時二塁打を放ち、塁上で喜ぶ八学光星の山上